



3月号

学校だより

令和6年2月29日

横浜市立南小学校

校長 薄田 秀明

「自分の目指すゴールに向かって」

がっこうちょう うすだ ひであき
学校長 薄田 秀明

今年度もあと1か月となり、1年間の締めくくりの時期となりました。先日、花ボランティアの皆様と生き物

委員会の児童と一緒にパンジー、ビオラなど色鮮やかなお花をプランターに植えていただきました。卒業と

入学、旅立ちと出会いの場をきれいなお花で迎えるための活動です。体育館前の階段に並べられていて、見

るたびに一步一步春が近づいているなど感じています。

一步一步という「うさぎとかめ」の昔話があります。この話には「能力では勝っていても、油断をすると

負けてしまう」「地道な努力をするものは、最後には報われる」という教訓が含まれています。皆さんご存じの

話ですが、実は「うさぎとかめ」の話は世界のいろいろな国にもあるのだそうです。ただし、国によってその

内容や教訓は少しずつ異なっているようです。いくつか紹介します。

インドの場合、うさぎが途中で昼寝をしてしまい、負けてしまう所までは日本と同じです。しかし、インドでは

「なぜ、うさぎを起こしてやらなかったのか」とかめが非難されてしまい「友情は大切にしなければならない」

という教訓を残します。フランスでは、うさぎは、かめを先に走らせておいて、ゴールの直前で追い抜こうと考

えます。ところが、スタートが遅すぎて結局は、かめに追いつくことができません。教訓は「何事もスタートは早

めに」です。それぞれに面白さや教訓がありますが、改めて日本の「うさぎとかめ」のお話に戻ってみると、別

の見方や考え方もできるように思います。例えば、かめは、うさぎと勝負していますが、本当の相手は、うさぎ

ではなく「もういいや」とか「どうせ勝てない」と諦めてしまいそうになる自分自身の心だったとも考えること

もできます。一方、うさぎの方は、もしも足の速い馬が相手だったら、勝負を挑むこともなかったかもしれません。

他人との優劣にだけ価値や目標を置くのではなく、自分の目指すゴールをしっかりとつとめることの大切さを伝えて

いるようにも思えます。また来年度のスタートに向けてしっかりと準備してまいります。

1年間、たくさんのご支援とご協力、ご理解をいただいたことに感謝申し上げます。

ありがとうございました。令和6年度もよろしくお願いいたします。